



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ミマキエンジニアリング  
コード番号 6638 URL <http://ir.mimaki.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 和明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 三宅 洋

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日

TEL 0268-64-2281

平成28年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	22,885	△4.6	1,110	△30.5	939	△31.3	388	△52.1
28年3月期第2四半期	24,001	7.9	1,597	△39.0	1,367	△42.5	811	△48.2

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △370百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 403百万円 (△76.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	12.78	—
28年3月期第2四半期	25.89	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	45,157	14,580	32.3
28年3月期	46,132	15,642	33.9

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 14,580百万円 28年3月期 15,642百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
29年3月期	—	5.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,350	1.1	1,850	△42.1	1,500	△45.6	900	△44.8	29.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会社方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	32,040,000 株	28年3月期	32,040,000 株
29年3月期2Q	1,899,790 株	28年3月期	859,790 株
29年3月期2Q	30,397,325 株	28年3月期2Q	31,347,226 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済につきまして、米国では11月の大統領選挙を控え底堅い景況で推移し、欧州も6月の国民投票で決定した英国のEU離脱に対し大きな混乱なく対処いたしました。しかしながら、東アジアや中東・欧州における地政学リスクの拡大や、先進国における財政金融政策の行き詰まり等により、総じて不透明な状況が続きました。国内につきましても、欧米の金融緩和政策やリスクオフ局面における円高が進行し、当社のように海外販売比率の高い製造業にとって厳しい事業環境となりました。

そのような中、当社グループはテキスタイル・アパレル（以下、TA）市場の取り込みに向けて注力いたしました。まず、平成28年10月19日公表の「当社子会社による伊ラ・メカニカ社の株式取得（子会社化）の完了及び同社の商号変更等に関するお知らせ」のとおり、イタリアに開発製造子会社（Mimaki La Meccanica S.p.A）を取得いたしました。これによりTA市場向けハイエンドモデルが製品ラインナップに加わり、当社グループはTA市場をフルカバーできる製品力を確保することができました。これは、世界中で定期的に行われるTAの展示会で当社グループの存在感が格段に増すことを意味し、ビジネスチャンスの拡大につながるものであります。

また、TA市場の潜在力が高いインドにおいて、現地の係争のために事業展開に制約を受けておりましたが、平成28年5月16日公表の「インド合弁会社における合同出資者との和解成立（合弁解消）に関するお知らせ」のとおり和解が成立いたしました。これにより、当社独資の子会社（MIMAKI INDIA PRIVATE LIMITED）がインドの展示会にフルラインナップの製品群で出展でき、インド市場を存分に深耕できる状況となりました。

さらに、平成28年7月には、長野県東御市の本社に専門的なプリントの試験や評価を行いお客様の課題解決に貢献するTA/IPラボセンターを開設いたしました。このTA/IPラボセンターについては順次グローバルに展開し、サービスの向上とノウハウの蓄積に取り組んでまいります。

それらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は228億85百万円（前年同期比4.6%減）、営業利益は11億10百万円（同30.5%減）、経常利益は9億39百万円（同31.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億88百万円（同52.1%減）となりました。

なお、当第2四半期における主要な為替レート（平成28年4月～平成28年9月の平均レート）は、1米ドル＝105.33円（前年同期 121.80円）、1ユーロ＝118.21円（前年同期 135.07円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、セグメントの利益につきましては、セグメント間取引消去の影響により四半期連結損益計算書の営業利益から乖離してしまうため、記載を省略しております。

**(日本・アジア・オセアニア)**

日本・アジア・オセアニアにおける売上高は106億4百万円（前年同期比3.8%減）となりました。中国の売上高が前年同期を大きく下回ったため、全体でも減収となりました。

**(北・中南米)**

北・中南米における売上高は49億75百万円（同5.1%減）となりました。円貨ベースの売上高は前年同期を下回りましたが、現地通貨（ドル等）ベースの売上高は前年同期を上回っております。

**(欧州・中東・アフリカ)**

欧州・中東・アフリカにおける売上高は73億5百万円（同5.6%減）となりました。円貨ベースの売上高は前年同期を下回りましたが、現地通貨（ユーロ）ベースの売上高は前年同期を上回っております。

当第2四半期連結累計期間における市場別の売上高は以下のとおりであります。

	売上高(千円)	構成比率(%)	対前期増減率(%)
SG市場向け	10,184,631	44.5	△16.3
IP市場向け	7,496,844	32.8	7.2
TA市場向け	2,700,292	11.8	8.0
その他	2,503,869	10.9	7.2
合計	22,885,637	100.0	△4.6

また、当第2四半期連結累計期間における品目別の売上高は以下のとおりであります。

	売上高(千円)	構成比率(%)	対前期増減率(%)
製品本体	11,398,736	49.8	△9.4
インク	7,705,103	33.7	△1.4
その他	3,781,798	16.5	5.1
合計	22,885,637	100.0	△4.6

**(SG市場向け)**

エントリーモデルの主力製品におきましては、競争激化による販売単価の下落・販売数量の減少に加えて、円高の進行により円換算の売上高が大きく目減りいたしました。その一方で、平成28年4月に発売開始した新製品のLED-UV硬化インクジェットプリンタは、全世界で販売台数が拡大いたしました。

それらの結果、売上高は101億84百万円(前年同期比16.3%減)となりました。

**(IP市場向け)**

従来の小型モデルに加えて、フラットベッドタイプの大型モデルが主力製品に成長して販売台数が増加いたしました。さらに、平成27年11月に発売した新製品がプリント精度において市場で高い評価を受けており、販売台数が増加いたしました。

それらの結果、円高の進行にもかかわらず売上高は74億96百万円(同7.2%増)と増収になりました。

**(TA市場向け)**

平成27年7月に発売したエントリーモデルが、主力機種に成長いたしました。また、平成28年2月に発売開始した新製品の大型昇華転写プリンタも売上増加に貢献いたしました。

それらの結果、円高の進行にもかかわらず売上高は27億円(同8.0%増)と増収になりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年5月12日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間において、MIMAKI EURASIA DIJITAL BASKI TEKNOLOJILERI VE TICARET LIMITED SIRKETI を新たに設立し、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,034,884	10,391,611
受取手形及び売掛金	7,888,065	7,342,148
商品及び製品	10,895,330	10,900,425
仕掛品	266,208	266,039
原材料及び貯蔵品	3,306,227	3,391,296
繰延税金資産	833,948	471,586
その他	1,578,485	2,000,928
貸倒引当金	△122,553	△121,457
流動資産合計	35,680,596	34,642,578
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,982,856	3,807,402
土地	2,876,214	2,876,214
その他(純額)	2,113,499	2,236,862
有形固定資産合計	8,972,570	8,920,478
無形固定資産		
その他	392,891	537,104
無形固定資産合計	392,891	537,104
投資その他の資産		
繰延税金資産	246,337	228,293
その他	962,182	963,637
貸倒引当金	△121,697	△134,585
投資その他の資産合計	1,086,822	1,057,346
固定資産合計	10,452,284	10,514,929
資産合計	46,132,881	45,157,507
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,867,713	3,809,142
短期借入金	6,469,851	6,340,089
1年内返済予定の長期借入金	2,757,416	2,725,384
未払法人税等	106,116	180,688
賞与引当金	700,491	669,573
役員賞与引当金	43,678	15,625
製品保証引当金	414,740	407,524
その他	3,766,647	7,537,358
流動負債合計	21,126,656	21,685,386
固定負債		
長期借入金	8,721,797	8,312,503
リース債務	136,177	112,086
繰延税金負債	6,628	5,981
退職給付に係る負債	311,532	324,856
資産除去債務	52,685	51,156
その他	134,868	85,364
固定負債合計	9,363,689	8,891,947
負債合計	30,490,345	30,577,334

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,357,456	4,357,456
資本剰余金	4,269,686	4,269,686
利益剰余金	7,803,163	8,035,780
自己株式	△201,831	△737,694
株主資本合計	16,228,475	15,925,228
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△981	302
為替換算調整勘定	△605,640	△1,361,553
退職給付に係る調整累計額	20,683	16,196
その他の包括利益累計額合計	△585,939	△1,345,054
純資産合計	15,642,535	14,580,173
負債純資産合計	46,132,881	45,157,507

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	24,001,292	22,885,637
売上原価	12,857,454	12,505,982
売上総利益	11,143,837	10,379,655
販売費及び一般管理費	9,546,341	9,269,383
営業利益	1,597,496	1,110,271
営業外収益		
受取利息	13,660	23,204
受取配当金	504	450
受取保険金	9,346	12,332
保険返戻金	22,002	14,862
貸倒引当金戻入額	25,759	-
その他	17,095	22,645
営業外収益合計	88,367	73,494
営業外費用		
支払利息	58,473	63,803
売上割引	53,216	55,189
為替差損	136,947	93,783
持分法による投資損失	44,683	17,058
その他	24,589	14,217
営業外費用合計	317,909	244,051
経常利益	1,367,954	939,714
特別利益		
固定資産売却益	12,762	14,784
新株予約権戻入益	212	-
特別利益合計	12,975	14,784
特別損失		
固定資産売却損	742	151
特別損失合計	742	151
税金等調整前四半期純利益	1,380,187	954,347
法人税、住民税及び事業税	470,514	190,782
法人税等調整額	98,220	375,047
法人税等合計	568,734	565,830
四半期純利益	811,452	388,517
親会社株主に帰属する四半期純利益	811,452	388,517



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	811,452	388,517
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,411	1,284
為替換算調整勘定	△423,296	△799,798
持分法適用会社に対する持分相当額	22,712	43,885
退職給付に係る調整額	△6,419	△4,486
その他の包括利益合計	△408,415	△759,115
四半期包括利益	403,037	△370,597
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	403,037	△370,597

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年2月10日開催の取締役会決議に基づく自己株式820,000株の取得、また平成28年6月10日開催の取締役会決議に基づく自己株式220,000株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が535,863千円増加し、当第2四半期連結会計期間期末において自己株式が737,694千円となっております。